令和３年11月11日開催　懇談会議事録

〇参加者

・枚方市ＰＴＡ協議会　会長・顧問

・枚方市ＰＴＡ協議会幼稚園部会　各園ＰＴＡ会長

・枚方市子ども未来部公立保育幼稚園課　担当者

1. 開会

PTA協議会会長（以下、会長）：

それではこれより枚方市ＰＴＡ協議会と枚方市子ども未来部公立保育幼稚園課との懇談会の方を始めさせていただきます。

本日この場で司会をさせていただきます、枚方市PTA協議会令和３年度会長です。どうぞ宜しくお願いいたします。

それでは、式次第に沿って進めさせて頂きます。

次第２は会長挨拶ということで、本日は公立保育幼稚園課課長はじめ行政の皆さま、そして、幼稚園部会の担当の皆様お忙しい中ありがとうございます。また、質問書の方にご回答いただきましてありがとうございました。

本当にお忙しい中、未回答もございましたが、きちっとした回答を頂けたかなと思っております。本日はこの回答を元に皆さん思っていることを深掘りするのかわかりませんが、ご質問させて頂きたいなと思いますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

1時間ということで進めさせていただきたいと思いますのである程度先程ちょっと打ち合わせの方で時間配分は言わせて頂いたと思いますので、それにのっとって進めさせていただきたいと思いますので宜しくお願いします。

式次第３公立保育幼稚園課代表挨拶並びに出席者紹介ということで、課長宜しくお願いいたします。

公立保育幼稚園課課長（以下課長）：

皆さま改めましておはようございます。平素は本市の幼児教育行政のご理解ご協力等いただきまして誠にありがとうございます。この度は質問の方をいただきまして、回答をさせてもらったんですけども、この回答でいいって正直思っている所といやいややっぱりまだまだ行政として出来ていないなぁと思っている部分があるということは十分認識しております。そういう部分を含めまして、本日保護者の方々と直接ご意見を頂ける場というのは我々にとってもすごい実になることなので、どうか本日は宜しくお願いいたします。

続きまして、本日の出席者の紹介をさせて頂きます。

公立保育幼稚園課主幹でございます。

公立保育幼稚園課主幹（以下主幹）：

私も以前は幼稚園の方でお手伝いさせて頂いていて、この中にもお世話になった保

護者の方がいらっしゃるんですけれども、本当にＰＴＡ会長さんはＰＴＡになくてはならない、特に委員長にとっては本当に頼りにさせてもらえる存在の方で、その分多々ご負担もおかけしているかと思うんですけれども。私たち今日はお預かりしている大事な幼稚園がよりよい幼稚園になるように一緒にいろいろと、宜しくお願いいたします。

課長:続きまして、公立保育幼稚園課課長代理でございます。

公立保育幼稚園課課長代理（以下代理）:公立保育幼稚園課課長代理でございます。本日は宜しくお願いします。

公立保育幼稚園課職員（以下職員）:公立保育幼稚園課を担当しております。宜しくお願いいたします。

会長:課長ありがとうございました。続きまして次第４幼稚園部会長挨拶並びに出席者紹介。
部会長宜しくお願いいたします。

幼稚園部会部会長（以下部会長）:
おはようございます。今年度幼稚園部会長部会長をさせていただいております、蹉跎西幼稚園のＰＴＡ会長です。宜しくお願いします。本日は皆様、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。
またこのような場を設けていただきましたことも重ねてお礼申し上げます。幼稚園部会から提出しました質問書への回答もありがとうございました。本日はどうぞ宜しくお願いします。
出席者紹介をさせていただきます。枚方幼稚園であり今年度幼稚園部会副部会長の

幼稚園部会副部会長（以下副部会長）:副部会長です。宜しくお願いします。

くずは幼稚園ＰＴＡ会長（以下くずは）:くずは幼稚園のＰＴＡ会長です、宜しくお願いします。

香里幼稚園ＰＴＡ会長（以下香里）:　香里幼稚園のＰＴＡ会長です、宜しくお願いします。

田口山幼稚園ＰＴＡ会長（以下田口山）:田口山幼稚園のＰＴＡ会長です、宜しくお願いします。

高陵幼稚園ＰＴＡ会長（以下高陵）:高陵幼稚園のＰＴＡ会長です、宜しくお願いします。

高陵幼稚園担当者（以下高陵２）:高陵幼稚園担当者です、宜しくお願いします。

会長:ありがとうございました。それではですね、質疑応答に入る前に少しだけ注意事項をお伝えさせていただきたいと思います。まず今回の懇談会は幼稚園部会が各単Pの方でアンケートをとっ

て、各単Pで起こっていること聞きたいことを集約して検討を重ねて保護者の総意とはならないかもしれませんけれども行政担当課の方に投げさせていただいた質問になります。そして、回答して頂いたものをベースにこの懇談会の方を進めさせていただきます。
最初の次第の代表質問の方に関しましては約15分を持ち時間とさせていただきます。その後の各単Pからの質問に関しましては各園持ち時間5分ということで進めさせて頂きまして計45分ということで進めさせていただきたいなと思っております。はい、で、今回の場は子どもたちの為にという想いは、PTAも公立保育幼稚園課の方も想いは全く一緒だと考えておりますので、決して要望要求をする場ではなく、お互いの立場に立ってＰＴＡと担当課が意見を交換し共に考えて行ける場になれば良いのかなと思っております。
　また、今回懇談会につきまして、録音させて頂きましてですね、議事録を作成させて頂きたいと思っております。ボイスレコーダーこちらにあるんですけれども、出来るだけ大きめの声でですね、発言して頂きまして、聞き取りやすいように、私ちょっと早口ですけども、聞き取りやすいように発言して頂きましたら幸いです。
　またこちらの議事録の方は公立保育幼稚園課にもですね、最終確認して頂きました上でホームページの方にアップさせていただきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。それでは進行の方させて頂きます。
式次第5幼稚園部会代表と担当課による質疑応答の方を進めさせていただきたいと思います。部会長宜しくお願いいたします。

部会長:はい、宜しくお願いします。質問書にそって質問をさせて頂きたいのですが、いくつか、何点かは時間もありますので、この頂いた回答でいいかなぁと思っております。まず、各園の質問の中の香里幼稚園の方からちょっと質問がありますのでお願いします。

香里:申し訳ないです、印刷が間に合わず携帯を見ながらになるので申し訳ないですが、宜しくお願いします。質問させて頂きました内容は駐輪場の件だったんですけれども、整備をいただけませんでしょうかと質問させて頂きましたら、「駐輪スペースの確保が足りないとなっておりまして」ということで、香里小学校の運動場の一部を駐輪スペースとしてお借りする対策を行いますというご回答をいただきまして、小学校の方からこちらどうぞとご提案いただきまして、たくさん考えていただきましてとてもありがたかったのでこちらでお礼を言わせて頂きたいなと思います。今はコロナ禍で学年毎に登園を行っておりますので一時期に集まる自転車が１クラス分ですので３０名ほどのスペースがあれば今は滞りなく少しはありますけれども、対応していただいた形でありますけれど、今後とも３学年が共に降園となりますと、１００人分の自転車が小学校の校庭の一部に停まるということになりまして、やはりそこは体育にいく子どもが通る道でもありますし、雨が降ると泥濘んで坂道も多いし、今は土嚢を敷いて対策をして頂いているんですけれども、やはり月日が経つと雨水が流れて道ができてしまって。特に冬場になって下が凍ったりするとぬかるみが激しくなって、そういった所、現状はいいんですけれど、今後として１００人体制の駐輪場、ぬかるみや坂道に対しての対策っていうのを今後引続き検討していただければなと思います。幼稚園の駐輪場という件ですが、小学校の方にご協力頂かないといけない点がPTAも園長先生並びになかなか話しにくい次第でございますので、子どもた

ちの授業の関係も私たちは把握しきれない所ではありますので、是非とも校長先生並びに行政の方にサポートをして頂けましたら大変ありがたく感じております。宜しくお願いいたします。

課長:確かにあれですね、我々ももっといい場所があればいいなとは思うんですけれども、はじめは校舎の新しくできたところに斜めに並べてもらって。幼稚園にも近いですし。1番近いところで停めてってもらえるように相談させてもらっていたんですけれども、やっぱり子どもが、小学生が授業をするときに、こっちは自転車が停まっているから、あれは誰誰のお母さんやとかいうことでやっぱり気になるというところで、校長先生ともご相談させてもらった上で、これが最終決定という形ではないですけれども、今できるやり方ところでやらしてもらった形なんです。けれどもちろんこれが全てではなくて、これでもう考えませんというわけではございませんので、もっとより近い所や、もっとぬかるみのない所であるとか、３０名のスペースしかないっていうのも、十分認識しておりますので今後引き続き検討していきます

会長：ありがとうございます。

高陵：高陵です。えっと、お世話になります。
毎年こちらの議題にもあげさせてもらっている駐輪場の件なんですけど、幼稚園自体も小さいので、そこからプラスしてこう場所を作ったりしていくのは難しいのは重々承知しているんですけど、小学校を今までお借りしていたんですけど、今後工事が入っていくということで、そのスペースもなくなるのではないかっていうところもあって。小学校が工事されるっていうことなんですけど、小学校の一部が高陵幼稚園であるっていう認識をもう少し分かっていただけると、有難いかなっていうところで。工事を小学校自体全面にされるのであれば、駐輪スペースをその際に先に作っていただくなりしていただくことが、高陵幼稚園の場所的にもこれ以上他の場所を使ったり借りたりっていうことは不可能だというのもみなさん分かっておられると思うので、保護者の方もね。工事をされる時に先に用意をしていただければ、こちらも助かるかなということなので、よろしくお願いいたします。

課長：
ここはね、入り口もね、教育委員会から新しい学校を作る推進がありまして、
禁野小学校を建築される、その時にまた工事期間中であったり、工事が始まるとまた駐輪場だけの問題ではなくなるので。工事車両の問題であったり、騒音の問題であったり、やっぱり我々としては何もなしにという訳ではなく駐輪場のところも一緒にと考えています。

高陵：よろしくお願いします。ありがとうございます。

部会長：

預かり保育のことなんですけど、今年度4月から土曜日合同ですることになって、その連絡が遅かったっていうのと今後、例えばまた違うことで決定したことをもう少し早めに保護者に伝えていただくようにしてもらえたらと思います。

課長:
高陵とさだは比較的近くに、香里、枚方がありますんで合同でという形になりました。
そもそも一人だけしかいてなくて自分で行かなくては可哀想やっていうところがあって。
預かり保育をやるという条件で入ってきてもらってる以上は、勝手には進めていけませんので保護者の方で確認してもらって、もしいやちょっとと、一言でも否定するような声があったら絶対にダメ。
子どもにとって一人より複数名いた方が楽しいというメリットデメリット。
来年、保護者の方に最終確認、保護者の方に確認とらせてもらってそれがいいですっていう答えが必要。
今のやり方を継続していくわけではない。
今は利用してないけど、来年度から利用する方にとってはやっぱり負担っていうのは間違いなくあることは把握しています。

幼稚園部会:
その預かり人数が増えるかどうかっていうのは、新年度始まってからじゃないと分かりにくいんですか？

課長：
預かり保育についてのアンケートを取らせていただこうと思ってるんですけど、その中で曜日の利用そちらで把握させてもらってからになりますがアンケートは早めにさせていただこうと思っております。

部会長：
また預かり保育のことなんですけど、さだ幼稚園はまだ抽選とかないんで、それでもギリギリの枠で人数がカツカツだったりするんですけど、例えばよその園と毎月抽選しているところがあるんですけど、新２号認定を受けてても受けてなくても抽選になったら関係ないので、一応優先はしてもらえる、でも落ちることもある。

公立保育幼稚園課：
新２号の方は今のところ３５人以内になってますので、新２号の方で希望すれば１００％利用していただけます。
香里なんか結構毎月抽選してるんですけど、残りの枠を例えば１号の方でも家の事情で使いたい方は抽選ということになります。

新２号の方は幼稚園給食をモデル的にやってますけど、希望すれば預かりも給食も選べるっていう状況ではあります。

　でも１号の方でもどうしても使いたいとかもちろんいるので、なかなかこう建物スペースであるとか職員体制などありますので、いまのところ３５人っていうのでやらせてもらっています。

また別の部屋とかなかなか幼稚園スペース的に厳しいところがあるので、遊戯室とか部屋が全くない所もありますし、できるだけ利用できるようにしたくてもさだみたいになかったら、さらに５０人来てください７０人来てくださいってなると、そこに子ども全員が入ってもらうとダメになっちゃうんでそれがいいか悪いかとなると

われわれに課題があると考えています。

１号の方でも利用したいっていう方がいれば利用させてあげたいと思ってます。

会長：ありがとうございます。

部会長：

入園に関してなんですけど、今年度の兄弟枠についての話なんですけど、回答頂いてるんですが、今年の３歳児の抽選がさだ幼稚園でありまして、７名落ちたと聞いたんですが、その中に双子の子がいて、片方の子が受かって片方が落ちました。

なので、本当は同時に入園させたかったけどっていう話を聞いたんです。

兄弟枠ってなったら年の差があって、次の年に入りたいっていうのが兄弟枠やと思うんですけど、双子だったら同じ年に入園してもらわないと、それはちょっと負担になる。その辺はどういう意図で考えてらっしゃるのか。

公立保育幼稚園課：

これも蹉跎だけじゃなく、現実問題としてあります。

保育所の場合なんかですと、みなさんご存じだと思うんですけど、点数制になってますんで、ひと

り親であるとか子どもに兄弟がいる、障害がある、様々な事情によって加点していって、点数が高い方から入ってもらえるところなんです。これが良いとか悪いとか議論はもちろん今はしません。

幼稚園の場合はそういうものは全くなく、障害がある園児もおられますし、一人親の方もおられますし、色んな事情の方を全くやっぱり平等に幼稚園に入ってもらう。

幼稚園の場合は教育機関だから、みんなが平等に入れる小・中と幼、同じやり方で考えてる。そういうところもあるんです。でも、おっしゃてるように双子は片方だけ落ちたら逆にデメリットですよねって言われるとそこはおっしゃる通りで今すぐに答えは出ませんけれども、他市の事例も含めまして今後検討していきます。

幼稚園部会：

　割って入って申し訳ないですけど、その件

全員平等っていうのが原点というのは
保護者的に何が平等なのか考えると、両方あると思うんです。
行政的な平等とずれがあるのかなぁと。

公立保育幼稚園課：
そこは数年思ってまして、それをどこまで寄せていくのが重要ではないか
施設には許容人数ってのがありますから、
またその辺りを考えていく。

全く考えてないわけではありません。

幼稚園部会：
その兄弟枠についてなんですけど、確かにその平等性をしっかりと獲得していくっていうのは大事だと考えてますし、親の立場として言わせていただけるならば、私たちは公立幼稚園の保育をみて選んでおりますし、公立幼稚園の保育を兄弟共に学ばせてあげたいっていうことで兄弟を入れたいという思いで選ばせていただいているところもあるんですけど。
やはり公立幼稚園のよさっていうか、家庭と密にだとか、地域とのつながりを大事にされているというところに共感しているんですけど。
兄弟が違うところに行ってるとなると、運動会とかでは思いを共有してっていうところを
他園さんの兄弟さんが家で、うちは忍者、うちは宇宙っていうところを家庭に持ち込んだ時にやはり、保育で一番大事にされている家庭との連携が薄くなっていくんではないかなというところだけ。

香里：
わが子の話で申し訳ないんですけど、今年、香里は宇宙がテーマだったんですけれども、　そしたら家でDVDを見た時に宇宙だ、となったら上の子も宇宙の話しして家族全員で宇宙の話をして、それで運動会を見に行って、すごく心身ともに運動会と宇宙に心を寄せたんです。それが兄弟別の園にとなれば、あの大事にしたい1番の点がちょっとそこはずれてきているのではないかと思うんですけれども。それが一日限りの運動会、1日限りの体育の披露会であれば、構わないと思うんですけれども、やはり公立幼稚園は気持ちを大事にしている幼稚園だと思うんでやはりそういったことを家庭で共有するならば制度の問題もあるとは思うんですけれども、他の園さんとは違うっていうようなのがメリットだと私たちは思っているので、そういうところを全面に出して頂いたような制度を作っていただければ。なぜ平等だけどここは違うのか。
保育方針を一番に考えておりますということでしたら、平等ではなくこういうところもありますっていうことなら、私たちの腑に落ちるじゃないですが、あ、それだったらっていうところの私たちの解釈になるんじゃないかなと思うんで。その点数だとかその保育園のことも十分考えていかないといけないのはわかりますけども、一番は子どもがどう過ごすか、家庭でその幼稚園の様子を持って帰って他の人と共感しあって保育内容を大事にした行事も行っているみたいなことがあれば、どうかなっていう。長くなってしまって申し訳ないですがありますので、

是非とも卒園児の兄弟までは、なかなか言えないですけれども、上の子が通っているのに下の3歳の子が違う園っていうのは、送迎が難しいという点もございますけども、想いをかけるところが違うっていうところは子どもの心身ということでご理解いただけたらなと思います。

課長：ありがとうございます。
運動会なんかはね、結構公立はやっぱりその当日までにかなり長い期間気持ちを盛り上げていく。いろんな題材で宇宙とか、今回田ノ口さんはおばけ…退治するとか。どうやって盛り上げたり、公立だったらこうとかバックアップしながら各園と園長が話し合ってやっていく。もちろん長いスパンで気持ちを高ぶりとかそういうのも考えていますんで、今言ってくれはったこととかほんとに嬉しい話やなぁと、そういうことがあるからしっかり検討せなあかんということでご意見頂戴しました。ありがとうございます。

会長：そろそろ時間が

ＰＴＡ協議会顧問（以下顧問）：
ちょっとすいません、市Pの顧問させて頂いております。
あのちょっと、私は全然公立幼稚園に通わせてなかったので、全く的外れな質問やったら申し訳ないんですけど。今、小中幼と同じように通わせている、小学校中学校は校区がありますよね。幼稚園は6園しかない中で、校区というのは存在しているのか。

課長：校区は存在していないですね。
小学校の方は基本希望してもらえば、決まっている校区あるんですけども、中学校もそうですけれど、希望してもらえれば越境できるという意味では、基本希望してもらえれば。

顧問：基本は校区じゃないんですね
そしたら、兄弟がやっぱりバラバラの幼稚園に行くっていうのは、小学校中学校は同じ小学校中学校に通う。兄妹である同じ住宅住所でも、幼稚園になると兄妹がばらけるっていうのは小中と合わせるっていう観点からいくと、やっぱり大きく乖離してるんではないかなっていうのはあるんで。そこはやっぱり同じ幼稚園に規則を何か作っていただくことによって小学校のように行ける、ましてや双子なんて絶対に行けるっていうふうに。
「校区」っていうのは、小学校幼稚園中学校というのは校区ってくくってそこに行かせているんであれば、やっぱり幼稚園も校区ってくくりでいうと同じ住所なのに違うところに行くというのは、本当に全然真逆のことをしているんではないかな、とは思います。
本当に考えていただいて何か、やっぱり親御さんの一番手がかかる年代なので、中学生で越境させるのとは全然違うと思うので、そこは本当に大変とは思うんですけど、兄弟・双子は同じところに通わせてあげないと、本当に親御さんの方がはっきり言って破滅、やっぱりいろんな事件が起こっていますので、それをちょっとでも除いていただけるんであれば、ましてやワンオペのお母さん、もしかして三つ子で三つ違うに幼稚園に行ってたら、一日どころかずっと幼稚園回っているような状態になってくるので、そういうことが起こりかねないのではないか

と。そしたら何か一つポンと決まりなり、基本のこと決めていただければ何とかなるのではないかと。公立幼稚園のこと全くわかってないので、単純にすごい思いました。よろしくお願いいたします。

課長：おっしゃる通りです。記録しております。ありがとうございます。

会長：予定よりちょっと時間をオーバーしたんでですね、ここで次は各園からの質疑応答をしていきたいと思います。まず高陵幼稚園さん。それでいいですか？変わりはないですか。
僕ちょっとさっきの高陵幼稚園さんの話を聞いてて一点だけね、高陵幼稚園さんちょっとぼく本当に幼稚園知らないので、高陵幼稚園さんって運動会は園で？小学校借りてですよね。
となると来年度以降どうするのか、というのとかはやっぱりこう幼稚園の方が担当課が、教育委員会から行政に変わってしまったというところで、教育委員会さんもたぶん教育委員会だけで幼稚園のことを考えていないと思うんですよね。
だからやっぱり幼稚園の方を、小学校の方は中宮北の方でもう禁野小学校として新たに来年度からスタートしますけど、今の高陵小学校の施設っていうのは解体がもう進んでいくわけですから、まあ安全面というのはさっきご指摘された通りなんですけども、運動会っていう行事ごとを、幼稚園がやってるものをですね、どういうふうにしていくのかっていうのを、できたらもう先に教育委員会とかにあげてもらうくらいでいかないと、本当に幼稚園の行事が急にあたふたしてしまうことになるんじゃないかなー、と思っています。

高陵：その話はもう園長とは話をさせていただいていて、子どもがちっちゃいというのもあるので、他の小学校を借りて、ということに例えなったとしても、移動に時間がかかったり物を移動させることに時間がかかるから、園内でしか無理ではないかという話には一応なってはいるんですけれど。

課長：きっと高陵園長としては、コロナがもし流行っていても流行っていなくても、切り替え制にして。まあそんなにむちゃくちゃ狭いグラウンドではないので、何人でも来てくださいとは、おそらくならないとは思うんですけれども、その中でどうやったらできるのか、ということも含めて、すみません議論の方を進めてください。

高陵：はい。

会長：あのー、コミュニティの方もわたし高陵校区なんで。
全然参加してないんですけれど、やっぱりコロナの影響でね、地域住民に対しても情報がすごく少ない。
で、何がどう進んでいるのかっていうと、たぶんその反応もコミュニティの会長さんとかＰＴＡの会長さん、ＰＴＡの一般会員、あんまり教えにきてないっていうのが現状なんですね。できるだけ早めに落として安心感を与えるということをしていただく方が、今後通わそ

うと思われているお子さん親御さんに対して、そういう情報がコミュニティからも流れますので、その方がありがたいかなとは思います。
今おられる方やったら把握できますけど今後の方には情報が行かない。

高陵：来年度の入園前とかぐらいにはしていただけるように園からも掛け合っては下さってるみたいで、ＰＴＡからも保護者も不安に思っているその声をあげていただきたいということはお伝えしています。

会長：他はないですか？
高陵：その二点が強いですね。

会長：では順番に次、田口山幼稚園さん。

田口山：田口山幼稚園単独で質問をあげているものはお答えいただいているので。一番伺いたいのは、園単独で出している物ではないのですが、今回給食のモデル園に田口山幼稚園選ばれておりますので、給食についてですね、質問をあげさせていただいてるんですが、一つご回答の方いただいてない部分がありますので、そちらも含めて給食ですね、今後どのように進めていかれるのかっていうのを分かってらっしゃる範囲で結構ですので、お伺いできたらなと思っています。

課長：そもそもなぜ給食を始めようと考えたのかから、そこからの話になってしまうんですけれどそのまあ保育所が正直たりてない。いわゆる待機児童がいる。子供の数が減っているのに待機児童だけがどんどん増えているという、枚方市の現状があるんです。
その中で、待機児童がどんどん増えているっていう中なんですけれども、幼稚園としては正直、まずニーズがちょっと少ない、っていうのがあって、5歳児が2クラスあったのが1クラスになったりとか、4・5歳児が1クラスになっているという現状がまずあったんです。
そこで3歳児をやりましょう、っていうところと、預かり保育を伸ばしましょう、っていうところをやった上で、まだ空き教室があるので、1、2歳児だけの小規模保育施設っていうのを運営しましょう。
そうすることで待機児童の解消に1歳児、2歳児、幼稚園から3歳児、で待機児童の解消を。
4、5歳児の待機児童はまずまずありませんので、そこをまず解消しましょう、っていうのが始まりなんですよ。
ですけれども、元々ある4つの幼稚園で小規模保育施設をやらせてもらったんですけれども、実際2歳児からそこの幼稚園に行く時って、2歳児の定員が小規模10名います。
その10名が無条件に流れる枠っていうのを、3月31日までキープしているんですよ。
だから他から入りたいって言っても「この10人枠はダメですよ。」っていって特別枠を10人用意しています。
これはなんでかと言うと、そこの園で1歳～5歳まで枚方市の方で保護してあげる、こういう教育を受けてもらえる、というところを売りにしているからです。

けれども実際、ふたを開けてみると平均でだいたい4人とか、まあまあ園によってばらつきがあるんですけれども、1人2人しか小規模保育施設から幼稚園に行かない。
枚方とか高い幼稚園もあるんですけれども。結構8割9割の方が行ってくれるんですけれども
他園では1人2人しか行かない。
枚方市全体で見ると、大体まあ4、5人しか上がらないので、5人くらいの枠がいつも余っている形なんです。
これをどうにかして、全員とは言いませんが、8人9人幼稚園に上がってもらえるとその分その方が保育所に行くことがなくなりますので、待機児童対策につながる、ということで考えています。
そういうことの一環としてなぜ2歳児から幼稚園に行かないんですか？確認したところ、やっぱり毎日お弁当を作ることが、仕事の関係上、絶対に無理だ、負担があるっていうことで
じゃあ給食があれば働いてる方でも

公立幼稚園を選んでもらえるんではないか、というところで。まあこの北河内とかでも、大阪府、いわゆる近畿の公立で給食をやっているところはまず無いんです。
私立とかでは仕出し弁当やってはったり、自園調理とか色々やってますけど、公立幼稚園ではほぼほぼやっていない。
府下の中ではどこもやってないんですけれども、今回35食分やらせてもらった、っていうのがまず、待機児童対策の一環、保護者支援の一環として、まずスタートしましたよ、って言う話なんです。先ほど言ってもらった枚方と田口山に関しては、元々は小規模保育施設には全て配膳室というものを作っているんですよ。
そこでこう運んできた大きい入れ物におかずとかを入れてきたものを、そこの配膳室でランチプレートっていう皿のようなものに盛ってもらっているんです。
そこのお部屋に、幼稚園給食35食分やろうとすると、その35食分の食器を置いておける棚がいる。
もちろん検品できるような棚がいるとか、そこの使った食器を洗うシンク、大きくないと洗えませんので、50食ぐらいが洗えるシンクがあるっていう、元々部屋が大きかったのが、枚方と田口、の小規模保育施設に設置して対応しております。
逆に高陵とかでしたら、よくご存知だと思うんですけど、小規模保育施設のところが本当にめちゃくちゃ狭いので食器を置いておける棚が置けないんです。
だからもしやろうとすると先ずこれが必要なのか必要でないかという。
実際やってみたらこういう課題がありました、モデル的に実施する、いきなりどーんとやっちゃうと資金とか市民のお金を使ったのにだーれも利用せーへんかったら「じゃあなんでこれやったの？」となる。
モデル的に実施して保護者の皆さんに聞いて小規模の方にもアンケートとらせて頂きまして
「次どこを希望されますか？」「給食利用されますか？」「なぜ公立の幼稚園選ばれないんですか？」それを聞いた上で実施していきたいと考えているんです。
保護者支援も進めていきたい。今後なんですけれども、まだ始めたばかりなので今の現状だけでいいますと枚方はほぼほぼ35食、毎回なってまして、新2号の方がほぼほぼ使われてますん

で、逆に1号の方も使いたいのに使えない。田口山の方は20食くらい、35食のうち20食、20名くらいが選ばれているっていうのが現状で。
いろんな課題を聞かせてもらってるんですけども金額やったり、休み前冬休み入る前にいる実施日数が少なくなるのに同じ金額そういうところもいろんな保護者の声を聞かせて貰っているんですけども今後そういうデータを集めて対応を広げていくのか。またこのやり方をぼちぼち見直して検討から始めていくのが来年の9月まで、令和四年の九月末まで1年間これを実施します。そこで結果を見た上で今後どうするかっていうのを決めていきたいと思います。

田口山:そのモデル期間実施後というのは、そのまま2園の給食は継続する方向なんでしょうか

課長:基本我々とすれば継続したいと考えていますが、もし仮に来年度入って利用者がほんと2.3人しかこっちの園もいませんっていう半年くらい。そんなことはたぶんないと思いますけども、そんな状況が続くとそこにかけるコスト、費用対効果がかなり厳しいと、そんな状況になれば、勇気ある撤退も必要にはなるとは思います。今のところ継続したい。

田口山:田口山も保護者の方はお試しでわたしも下の子小規模から上げて上がってきて今、年長と年少で小規模利用させて頂いて、お弁当なんですね。まだ給食は利用していなくて、ただ、利用していくつもりです。小学校に上がると、児童会に入る為の条件が新2号の条件と違うんですね。なので今より働かないと児童会には入れない。条件が全然別なので、上の子を児童会に入れようと思うと今よりも働かないといけない。児童会にいれないわけにはいかないのでいくらお休みがあったとしても、給食は利用しようと思っています。周りのお母さんたちも仕事の量を給食があることで、利用できるっていう選択肢があることで仕事の量を増やしていこう、ましてや、兄弟が小学校にあがるタイミングでみんな仕事を増やされるかたが多いのでまぁ来年から4月からっていう声を聞きます。
ただやはり金額の部分で、兄妹で利用していると尚更、併設している保育園の金額も正直あの量でこの金額みたいな。と思ってしまうので皆さんそうやっておっしゃっていましてそもそも高いよねっていう。そのあたり兄妹、公立保育園のメリット公立幼稚園に入ってからの選択肢っていうのを少しでも広げていっていただけると、とても嬉しいなと思います。

会長：ありがとうございます。

松下:3期休業中もやりませんと、小学校とおなじという形にはなっているんですけれども。
3期休業中もやってほしいとそういう声もたくさんもらってるので、今後そういう形というか値段もそうですけど、内容を充実させるのか、見直すのかいろいろあるんですけれども開始した方からすると、嬉しい回答をいただけて今後とも是非とも宜しくお願いします。

会長:是非あの一PTAとか保護者を使って、アンケート調査っていう。できるできないは金額の加減はあると思うので、いろんなそのアンケートというのを一目瞭然で出てくるんかなぁと思うんで。いいとこ悪いとこもあると思いますけど

出てくると思いますけどもそのせいでＰＴＡ逆に利用していただけたらよりよい制度になるんじゃないかなぁと思います

松下:ぜひともご協力いただけたら。

顧問:ちなみに給食、中学校は全喫食に変えようと審議会が立ち上がってるくらいなんで、これを変な話ね、幼稚園と合同でいけるんであれば対策的に全然食べる量が全く違うのと量も違うとは思うんですけど。

でもたぶん中学校の給食センターで全喫食できないであろうということでたぶん購入の方向でもしそれでいけるのなら変な話中学の給食に幼稚園が乗っかるのも結局金額は中学校でカバーしきれるなんか案があるんじゃないのかなぁ。

田邊:中学校は何をしてるのかというと完全喫食を目指している。

松下:

幼稚園さんの給食に対して、僕自身料理もあんまりしませんけれどわかんないですけど、少量のものを作るっていうのはコストが上がるって言うのは普通に考えるとね。

普通のことなんかな全幼稚園にしたら普通に考えるとね。

そう思ってしまうのでそのあたりが必要としているニーズがどれくらいあるのか調査してもらって、あとは調理できる場所。小学校ってたぶん全ての給食センターでまかなえている。提供できている。あれを個別で全学校がやれというのもそこに持っていきやすく、いろんなことを行政に考えないといけない。保護者もそういう、このモデルがどう生きて来るか考えたり、みなさんで、ＰＴＡのなかで話あってもらうのがいいんじゃないかなぁと。

幼稚園部会：よろしいでしょうか？

お弁当のことなんですけど、給食の件で、やっぱり公立でお弁当だから公立に行かせてるっていうお母さんもたくさんいらっしゃって。お弁当の良さもすごくあると思うんです。ですので、やっぱり今は実施モデルは３５食で選択ができるじゃないですか。

だからもしも給食にされるということであればそのまま選択制で残していただいてた方が有難いかなって思ってます。

えっ、お弁当じゃないの？？って心配してる方もすごいたくさんいらっしゃって、お弁当だから公立行かせたのにーとかおっしゃってる方もいらっしゃったので全部給食にされると困るなていうのもあります。

みなさまにご協力していただいて、給食回数のアンケート取らせてもらったんですけど、だいたい６割５分、７割弱くらいが選択制がいい。２割５分か３割は全員給食がいい。ほんで１割くらいが全員お弁当がいい。選択制が一番いい。

公立保育幼稚園課：中学校給食の時もそうやったんですけど、その際、コストの話であるとか栄養面であるとか、総合的に判断して、幼稚園でも検討していきたいと思うんですけど、お弁当がい

いっていう声が根強くあるっていうのは昔から教育委員会の中でもありますので、重々承知しております。

幼稚園部会：そのお弁当は今、給食のほうは９月までモデル実施されてるということで来年の春からまだまだ先の話ですか？

課長:もうちょっと先の話。

できるところと、もし仮にやるってなった際にむちゃくちゃ大規模な工事がある。今の枚方版子ども園もあの小規模幼児施設の全くやっていないところは1からガス管ひいたり、かなり大掛かりな工事になる。

で、ちょっと今まだやるやらない決まっていませんし、わかりませんし、できるだけ、なかなかすいません、お答えするのはできないんですけれど、申し訳ないんですけど。

枚方：枚方幼稚園の園庭が下にあって、降りるためには急なスロープがあるんですけど。

そこの工事が今始まってるんですけど、その工事を知らされたのが「もう来週から始まります」と。来週から園庭が使えないと保護者が知らされたんですね。それはちょっと急で保護者からは事前の説明会みたいなのが欲しかったっていう声が上がってまして。

子どもたちも入園から慣れ親しんできた園庭ですし、卒園間近でこの時期に工事となったので寂しいなっていう声が上がってまして、説明会とかコロナで集まったりできなかったのかもしれないですけど、詳しいお手紙が一枚あれば納得できたかなと思っております。

公立保育幼稚園課：

私も昔、枚方幼稚園に通ってましたんで、はい。すごく勾配が急ですよね。やっぱりこの度３歳児保育は始まったこともありまして、やっぱりその小さいお子さんがね、あの坂道はやっぱり危険な部分があるっていうところで、やっぱり保護者様のかたからご要望をいただいてた部分もあって。

必要性を訴え続けて今回工事をするって部分になったところです。

工事をするにあたってもすぐに決まるってなかなかなくて、工事をするには設計図を描いて、設計っていうのをして、その後に工事をするっていう形になるんですけど、大体その工事は２年度にかけてやるんですよ。

例えば、今工事しようと思ったら次の年度でその設計っていうのをして、その次の年度で工事をするっていうことになるんですね。

コロナの関係でなかなかできなかった。

工事をすること自体はもともと決まっております。

だいたい４月５月辺りくらいに工事の発注をして、それで業者が決まってっていう形になってくるんですけど、やっぱり運動会の準備とかもあるんで、運動会の準備をする為にはなんていうか工事自体は４カ月半くらいになるんですよ。

だいたい１１月から２月の末くらいまでの４カ月半くらいになるんですけど、７月くらいから始めると運動会と重なってしますので、運動会後の工事という形でやらせていたところです。

それで施設整備の方にも、施設整備っていう工事を担当する部署っていうのがあるんですけど、そちらの方にも話はさせてもらってまして、年内中の間っていうのはやっぱり重機がショベルカーみたいなのがその壁の方を削ったりだとか、樹木を伐採したりだとか、そういった工事ありますんで重機が年内いっぱいは入る形になるんですね。
そして年明け以降を重機が入らずに、工事業者による作業になりますので、園庭の一部を使わせていただくのはできないかっていうのは今ちょうど先生とか工事業者の方に話をさせていただいているところです。
今、園庭が使えない。天気がいいのに園庭が使えないっていう声も多々頂いておりまして、やっぱり小学校の校庭とか最寄りの自治会館のスペースをそちらの方も使えないかっていう話をこちらとしても進めさせていただいているところです。
そのお伝えするっていうのが遅くなりまして申し訳なく思っております。
申し訳ありませんでした。

課長:
4月の段階で今年工事やるっていうのは決めてましたし、運動会終わってから工事やるっていうもうすでに年度始まりに決めていましたし、そのことを園長に伝えられていなかったのは、我々の方もご要望いただいておりましたので、事情を確認して伝えられていなかったことはそこは我々の認識していますし、申し訳なかったなと思っております。このようなことがないように、決まっていることできるだけわかっていることはしっかりと伝えていけるように努めていきます。申し訳ございませんでした。

蹉跎：最後に蹉跎幼稚園からは特にないんですけども、工事の件や給食の件、いろいろ決定している事項をアンケートを書く際に部会を通してもう少し早くできるんではないかと思うんです。連携がとれたら、保護者に対してのアンケートがその市から行政で下ろしてこれるとすごく早く、そういう連携をもう少しとりたいなって思います。

課長:これはよりスピーディに要するに結果もすぐに。ま、結果がわからないものは市議会などの情報提供もありますしより良い、是非ともお力を貸してもらいたい

部会長:あの言えないこともちろんあるのはわかっているんですけど、ある程度決まってるんだったらもう教えて頂いていたほうがいいかなって。

課長:翌年の事業がまぁ最終は3月の決算があってからなんですけどね、年度内には決まりますので。こういうご要望だけではなくて定期交換会のような、年度始まって今年ってどうゆう予算で、今年どんなことやりはるんですかーっていう。我々も保護者の意見を園長からしか聞かないので直接みなさんの声を聞ける機会を。

部会長:わたしたちはもう3月で終了なんで。

課長:次の会に引き継いでもらって、4月か5月かでもいいですし。どんな防犯対策してくれるんですかとかでもいいですし年度が始まればできますのでこういうのをやれればなぁと思っています。

部会長:ありがとうございました。またPTA協議会の会長さんにあいだに入って頂いてよろしくお願いします。

会長:あのーちょうど11時半をまわりましたんでこのあたりでしめさせていただきたいなと思います。本日は枚方市PTA協議会と枚方市こども未来部公立保育幼稚園課との懇談会の方を開催させていただき、誠にありがとうございました。まぁ本当に子どもたちの為が一番大事なキーワードじゃないかなぁと思っていまして親のエゴもあるし行政の考えていることが親からしたら普通じゃなかったりもします。いろんな親がいらっしゃいます。いいものってその狭間の中に埋もれていると思いますので、そのあたり保護者も行政も一緒に考えながら先程課長と意見交換会をまた今後もと言っていただきましたので、よりよい枚方市の子どもたちのためにＰＴＡとしてもありがたいことですしよろしくお願いします。本日はお忙しいなか本当にありがとうございました。

全員：ありがとうございました。